

原子力規制庁記者ブリーフィング

- 日時：令和4年5月13日（金）14:30～
- 場所：原子力規制委員会庁舎 記者会見室
- 対応：黒川長官官房総務課長

<本日の報告事項>

○司会 それでは、定刻になりましたので、ただいまから5月13日の原子力規制庁定例ブリーフィングを始めます。

○黒川総務課長 報道官の黒川です。

お手元の広報日程に沿って説明をいたします。

まず、最初が、5月17日の（3）核燃料施設等の審査会合です。

議題は、JAEA（日本原子力研究開発機構）の原子力科学研究所の保安規定の変更で、幾つか細かい変更の集まりということのようで、施設管理の記載の充実とか、工事とか作業が進捗したことに伴って保安規定も見直すことが必要になったとか、そういった修正事項が集まったものだという事のようにです。

次に、2ページ目に行きまして、5月17日の（4）第1048回の審査会合です。

議題は2つありまして、1つ目が大飯の3・4号機の火災感知器のバックフィットに関する設工認です。これは前回2月7日にやったもののコメント回答などです。

2つ目が、伊方の保安規定でして、これは組織改正に伴う保安規定の見直しということのようです。

次が、5月19日の（7）行政事業レビューに関する外部有識者会合ということで、これは毎年この時期にやっている、全省庁共通でやっている行政事業レビューですけれども、これは大体三段階でやっているものでありまして、まず、今回、どの事業をレビュー対象にするかというのを選んで、次に、具体的なレビューをして、最後、委員会に報告するという三段階の一段階目ということになります。

次が、5月20日の（8）第1049回の審査会合です。

これは議題は3つありまして、まず1つ目が志賀です。志賀の敷地の地質構造についてということで、前回、1月14日のコメントへの回答ということのようです。

2つ目と3つ目は、川内と玄海の標準応答スペクトルの関係ということで、これも前回、1月21日でしたけれども、そのコメントへの回答ということのようです。

次に、3ページ目に行きまして、要人面談のところですが、滋賀県の副知事が次長のところに来られるということになっています。

最後、5ポツのところ、その他ですけれども、グロッシェーIAEA事務局長が委員長を表敬訪問されます。取材対応はありませんけれども、グロッシェー事務局長は、来日して政府

要人、大臣などにお会いになるようですけれども、その一環として委員長のところにも来られるというものです。

説明は以上です。

<質疑応答>

○司会 皆様からの質問をお受けします。いつものとおり所属とお名前をおっしゃってから質問のほうをお願いいたします。

質問のある方は手を挙げてください。

よろしいでしょうか。

それでは、本日のブリーフィングは以上としたいと思います。ありがとうございました。

—了—